

●図書館の職員に聞く

生涯学習や交流の場としての図書館へ



水沢図書館主査

高橋 哲司 さん

図書館では、図書資料の発注や受け入れ、資料の分類、図書資料の貸し出し・返却、レファレンスサービス（調査相談）、事業の企画などの業務を行っています。以前は、図書の貸し出しが重視されていて「何冊貸したか」といったことが、図書館を評価する基準になっていました。もちろん、現在でも貸し出し業務は大切なことですが、これからの図書館には、積極的な情報発信や読書の推進活動、レファレンスサービスなどがより一層求められています。

そうした中で、読み聞かせの活動や歴史講座、子育てサークルといった活動は、大きな役割を果たしているといえます。また、図書館側が、皆さんに興味を持ってもらえるような企画展などを開催して、図書資料と皆さんをつないでいく努力も必要です。レファレンスサービスもそうですが、わたしたち図書館職員も、そうした要望に応えられるようレベルアップしていかなければなりません。

市の図書館は来年、異なっていたシステムを統合する予定です。図書館同士の蔵書検索や貸し出し・返却などができるようになり、とても便利になります。図書館は生涯学習の場であり、人と人とが交流する場でもあります。人生を豊かなものにするためにも、図書館をご利用ください。

地域ぐるみの子ども読書推進事業

に読み聞かせは、読書ボランティアの人たちが学校に出向き、延べ150回以上も開かれる予定で、本離れが進む中学生に本の楽しさを伝えています。

中学生を対象とした事業では、作家の講演会やアナウンサーなどによる朗読会、ブックトーク（本の紹介）、読み聞かせをすべての中学校で開催します。特



江刺東中学校でブックトークを行う読書ボランティアの藤井江里さん

ことは、読書活動を広げる「国民読書年」です。これに合わせ、市教育委員会では8月から「地域ぐるみの子ども読書活動推進事業」に取り組んできました。

幼児や児童を対象としたものでは、メイプル地下にあるえほんの森を会場に、お話し会や絵本の読み聞かせが行われます。また、こうした活動を支える読書ボランティアを対象とした、ボイストレーニングやおはなし講座、小道具作成教室も企画されています。この取り組みは来年の1月まで続く予定で、読書ボランティアの人たちの協力を得ながら、読書を通じた子どもたちの健全育成を目指していきます。

■問い合わせ 市教育委員会事務局生涯学習課（江刺総合支所内線433）



①坂本龍馬と加藤清正を取り上げた企画展「THE☆漢祭り」（胆沢図書館）②市内の城を紹介する企画展「胆江の城」（水沢図書館）③江刺図書館の郷土資料コーナー

読み聞かせボランティア

いちごみるく（胆沢図書館）

「子どもたちが喜んでくれたときが一番うれしいですね」。読み聞かせグループ「いちごみるく」の岩渕栄子さんは、読み聞かせの魅力そう語ります。

「いちごみるく」は、胆沢図書館をよく利用していた子育て中の母親たちによって平成6年に結成されました。奇数月の第2日曜日に読み聞かせ会「おはなしこんにちは」を胆沢図書館で開催しているほか、手作りの大型紙芝居や大型絵本を使ったイベントなども行っています。幼稚園や小学校での



岩渕さんの楽しい読み聞かせで、子どもたちに笑顔が広がります

読み聞かせや、老人ホームなどの慰問も行うなど、活動は広がりを見せています。岩渕さんは「絵本は夢と創造の世界にわたしたちを連れて行ってくれます。心が癒やされますよ」と話していました。

えさし郷土文化館・相原康二館長の

江戸学講座（江刺図書館）

ました。

ことしの講座では、江戸時代末期に伊勢や西日本を大旅行した江刺の人の紀行文を取り上げています。郷土資料と一緒に読み解きながら、訪れた名所・旧跡や旅先での出来事などを通じて、当時のことを学ぶことができます。相原館長は「図書館は、資料の保存と活用を両立するための工夫が必要だと思います。これからも、皆さんに『こんな面白い資料がある』という紹介をしていただきたいです」と語っていました。



相原館長の分かりやすい説明と参考文献の紹介が講座の魅力

江刺図書館で行われている「江戸学講座」は、市内だけでなく遠方からも受講者が訪れる人気の講座です。講師を務めるのは、歴史の専門家であるえさし郷土文化館の相原康二館長。昨年5月に講座がスタートし

子育てサークル

PIPPY（前沢図書館）

図書館を子育ての場に——。そんな思いで平成17年に始まったのが、子育てサークル「PIPPY」の活動です。前沢図書館の絵本コーナーで年に4回開かれていて、図書館にとらわれない多彩な企画が特徴です。読み聞かせや人形劇、ハンドベルといった鑑賞するものから、健康体操やおやつ作り、手遊びといった体験するものまで、さまざまな活動が行われています。

設立当初から親子で参加していた小野寺愛子さんは「楽しみながら子育てに役立つ



小野寺さんたちが披露した手作りの人形劇「はらぺこあおむし」

知識を学ぶことができました。人形劇を披露したのが思い出ですね。わたしは地元出身ではないので、『PIPPY』を通じて交流が広がったのも良かったです」とその魅力を語っていました。



市内には4つの図書館と、図書室、分室があり、さまざまな人たちの手で、その活動が支えられています。ここでは、関係者の声を聞きました。

